

エチオピア暦の新年に当たっての伊藤大使によるエチオピアン・ヘラルド紙への寄稿

9月11日のエチオピア暦の新年に当たって、伊藤大使はエチオピアン・ヘラルド紙に新年をお祝いする寄稿をしました。

同寄稿において、伊藤大使は、エチオピアが直面する様々な課題を指摘し、その対処のために日本が行う支援について紹介しました。特に、8月27日及び28日にチュニジアにおいて開催された[第8回アフリカ開発会議（TICAD8）](#)において今後3年間で日本の官民一体となって300億ドルの資金投入を行うことを発表したことに触れ、アフリカで2番目に人口の多いエチオピアは、日本のアフリカに対するコミットメントの最大の受益者の1つであり、エチオピアの友人たちと協力して、この国にできるだけ多くの利益をもたらすための環境を整えることを期待しました。

同寄稿は、9月11日付の同紙に掲載されました。同記事（英語）を閲覧するには[ここ](#)をクリック下さい。